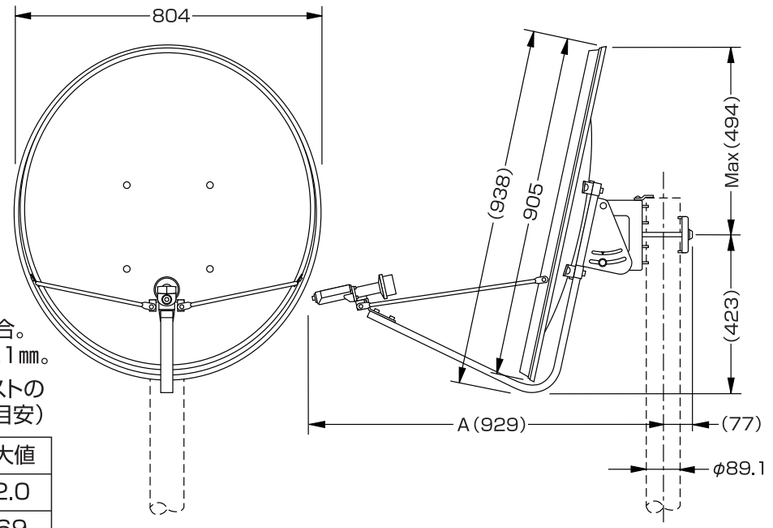
外観寸法図

［BL-CBS753］

単位：mm



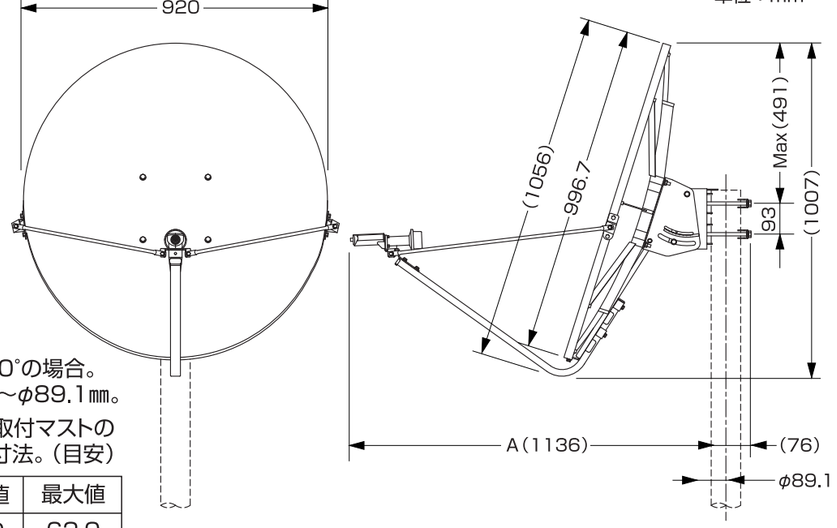
●本図は、アンテナ仰角40°の場合。
●適合マスト径はφ60.5～φ89.1㎜。

■仰角可変時のアンテナ取付マストの中心から給電部までの寸法。（目安）

	最小値	最大値
仰角調整範囲（°）	28.0	62.0
A 寸 法（mm）	861	969

［BL-CBS905］

単位：mm



●本図は、アンテナ仰角40°の場合。
●適合マスト径はφ76.3～φ89.1㎜。

■仰角可変時のアンテナ取付マストの中心から給電部までの寸法。（目安）

	最小値	最大値
仰角調整範囲（°）	28.0	62.0
A 寸 法（mm）	1086	1146

お客様窓口専用ダイヤル　**（03）3893-5243**　ご利用時間　9:00～18:00（土・日・祝祭日・弊社休業日を除く）

QT409-3

情報通信が仕事です。
日本アンテナ株式会社
本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎（03）3893-5221（大代）
ホームページアドレス http://www.nippon-antenna.co.jp/

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
平成22年3月改訂

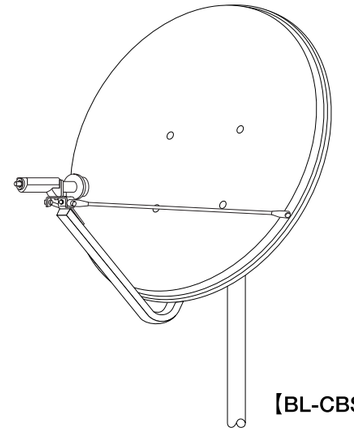
日本アンテナ

取扱説明書・施工説明書

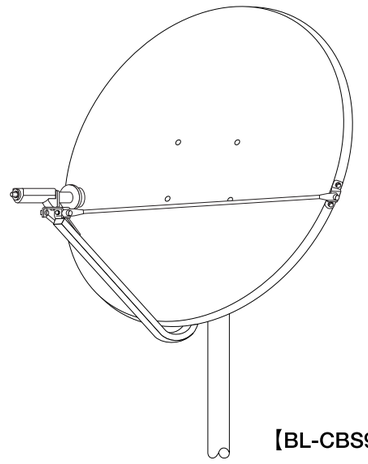
このたびは日本アンテナ製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

●ご使用前にこの取扱説明書と施工説明書をよくお読みください。
●お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

取扱説明書



【BL-CBS753】



【BL-CBS905】

優良住宅部品

テレビ共同受信機器 BS・110°CSアンテナ

種類	仕様	BL型式	日本アンテナ型名
衛星放送用アンテナ BS・110度CS受信用	75cm型	**CSBSA-75**	**BL-CBS753**
衛星放送用アンテナ BS・110度CS受信用	90cm型	**CSBSA-90**	**BL-CBS905**

目　次

説明の始まるページ

表紙
〔取扱説明書〕
取扱上のご注意……1
安全上のご注意……2
製品の保証……2
免責事項……2
お問い合わせ先……2
アンテナの特長……3
性能規格……3
各部の名称……3
メンテナンス……3
〔施工説明書〕
関連法規……4
設置上のご注意……4
構成部品……4
用意する工具およびテープ類……5
設置完成例……5
組立と取付方法……5
アンテナの調整方法……7
仰角と方位角……8
同軸ケーブルのつなぎかた……9
このようなときは……11
外観寸法図……12

優良住宅部品（BL部品）とは
「（財）ベターリビング」が優良住宅部品認定制度によって、品質、性能、アフターサービスなどに優れた住宅部品を厳重な審査に基づき認定された部品です。さらに保証責任保険と賠償責任保険が制度化されていますので、安心してご利用できます。

取扱上のご注意　アンテナの取付けや設置工事は、強度上の安全性確保のため、専門の技術者または、専門業者にご依頼ください。

QT409-3

安全上のご注意

絵表示について　この「安全上のご注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
⊘	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
❗	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

⚠警告　この表示を無視したり、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ●雷が鳴りだしたら、アンテナやケーブル、チューナーには触れないでください。感電の原因となります。
- ●反射鏡には光沢ができる塗料やワックスなどを塗らないでください。太陽光線がコンバーターに集まり、やけどや故障の原因になります。

⚠注意　この表示を無視したり、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- ●アンテナは、強風の影響を受けやすいため、指定の締付トルクでしっかりと取付けてください。取付けが不完全な場合、落下したり、けがの原因となることがあります。
- ●アンテナを改造、分解しないでください。故障の原因となることがあります。
- ●強風のときや雨、雪、雷など天候の悪い日は、危険ですから取付作業をおこなわないでください。

製品の保証

この製品の保証期間は、商品お引き渡しの日から5年間です。（コンバーター部分は2年間）保証期間内に取扱説明書・施工説明書の記載事項に従った正常な使用状況で故障した場合、ご購入店または別紙のお問い合わせ先にお申し付けください。

免責事項

下記の場合は保証期間内でも有償修理となります。
①日本国以外で使用した場合の不具合。
②住宅用途以外で使用した場合の不具合。
③ユーザーが適切な使用、維持管理を行なわなかったことに起因する不具合。
④メーカーが定める施工説明書に基づかない施工、専門業者以外による移動、分解などに起因する不具合。
⑤建築躯体の変更など、住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせなどの経年変化、または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象。
⑥海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。
⑦ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
⑧火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、洪水、津波など天変地異または戦争、暴動など破壊行為による不具合。
⑨消耗部品の消耗に起因する不具合。
⑩電気の供給トラブルなどに起因する不具合。
⑪瑕疵（かし）に起因して住宅部品、その他の財物の使用ができなくなったことによって生じた不具合。

このようなときは

修理を依頼される前に下記のことをお確かめください。

このようなとき	対　策
テレビで確認したら画像も音声も出ない	●アンテナの向きがズレていないか、再度ご確認ください。 ●同軸ケーブルが正しく接続されているか、ご確認ください。 ●チューナーなどのアンテナ電源が「入」または「オン」になっているか、ご確認ください。（共同アンテナの場合は不要） （確認方法は、お手持ちのチューナーなどの説明書をご参照ください。）
テレビ画像にノイズが現れる	●アンテナの向きがズレていないか、再度ご確認ください。 （雨、雷雲、積雪などによる電波の減衰が考えられます。 強風時のアンテナの揺れによる場合もあります。） ●同軸ケーブルの劣化も考えられますのでご確認ください。

⚠注意　上表に従って調べていただき、直らないときは、必ずチューナーなどの電源プラグを抜いてください。

修理を依頼されるときには次の内容をご連絡ください。

ご　氏　名		型　　名	
ご　住　所		お買い上げ年月日	
電 話 番 号		故 障 内 容	なるべく詳しくお知らせください。
製　品　名	BS・110°CSアンテナ		

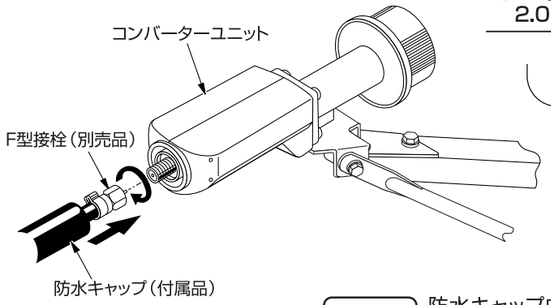
優良住宅部品（BL部品）とは
「（財）ベターリビング」が優良住宅部品認定制度によって、品質、性能、アフターサービスなどに優れた住宅部品を厳重な審査に基づき認定された部品です。さらに保証責任保険と賠償責任保険が制度化されていますので、安心してご利用できます。

- ●当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に不具合（瑕疵）が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙の貼付（または刻印など）がされている部品については、財団法人ベターリビングのBL保険制度に基づき保険金が支給されます。
- ●BL保険制度や当住宅部品の施工要領の詳細については、財団法人ベターリビングのホームページ（http://www.blhp.org/）をご覧ください。なお、BL保険制度に関する質問は、財団法人ベターリビング（TEL03-5211-0559）でもお受けいたします。

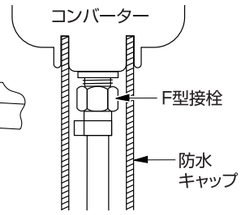
❷同軸ケーブルの接続と防水処理方法

⚠注意　締付けが弱いと防水性が劣り、逆に強すぎると接栓部が破損してしまうことがあります。

コンバーターにケーブルを接続します。

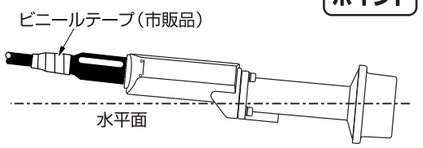


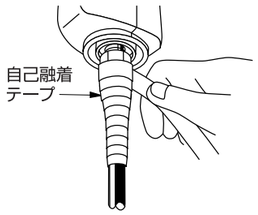
●F型接栓締付トルク
2.0N・m（約20kgf・cm）



ポイント

防水キャップ内に水が溜まると、ショート等の受信不良の原因になります。そのため本製品の防水キャップは水が抜ける形状になっていますので、防水キャップの下端には、ビニールテープを巻かないでください。
ただし、コンバーターの傾斜が左図のようになる地域においては、防水キャップの下側より、水が浸入するため、防水キャップ下端にビニールテープを巻いてください。



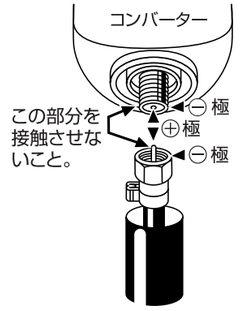


自己融着テープはテープの幅の½が重なるように巻きます。

同軸ケーブルをコンバーター出力端子に接続し、基準のトルクで締付けてください。防水キャップを奥に突き当たるまでしっかり挿入して完了です。
また、塩害地、雨が多い地域では、雨水の侵入を防ぎ、性能を維持するために、防水キャップを取付ける前に自己融着テープを巻き、さらにビニールテープを巻き付けた後、防水キャップを取付けることをおすすめします。

ポイント

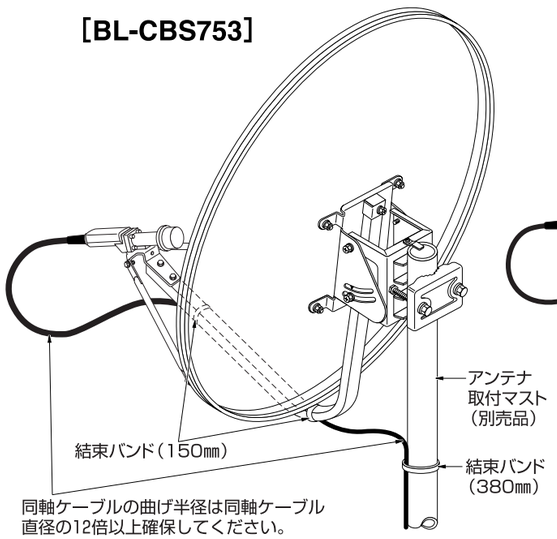
同軸ケーブルをアンテナに脱着する際には、コンバーターへのアンテナ電源は必ず〔オフ〕にしてください。電源が〔オン〕の状態でショートさせますと、チューナーからコンバーターへの電流は、安全装置により自動的に停止したり、再設定する必要があります。



※中心コンタクト（⊕極）をコンバーター出力端子外側の㊀極に接触させるとショートします。

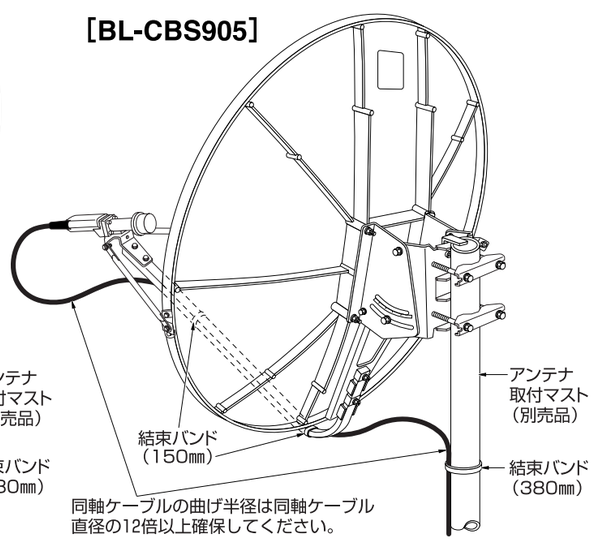
❸同軸ケーブルの固定方法

［BL-CBS753］



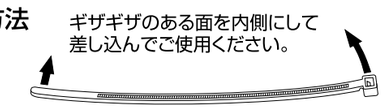
同軸ケーブルの曲げ半径は同軸ケーブル直径の12倍以上確保してください。

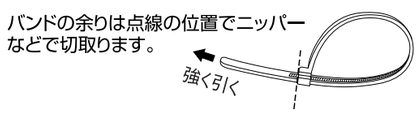
［BL-CBS905］



同軸ケーブルの曲げ半径は同軸ケーブル直径の12倍以上確保してください。

●結束バンド使用方法





アンテナの特長

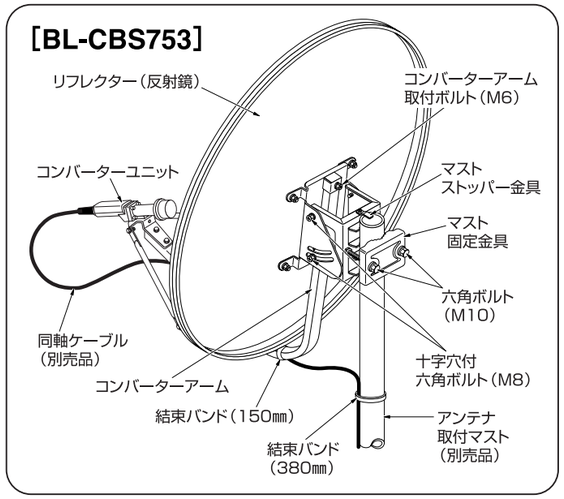
●75cm型は反射鏡にアルミを採用し、軽量化を図りました。90cm型は強化プラスチック（FRP）を採用、強風に十分耐える構造です。
●両機とも、マスト取付金具は、塩害地に最適な溶融亜鉛メッキ仕上げをしてありますので、安心してご使用いただけます。
●コンバーターは密閉構造で、耐久性に優れています。

性能規格

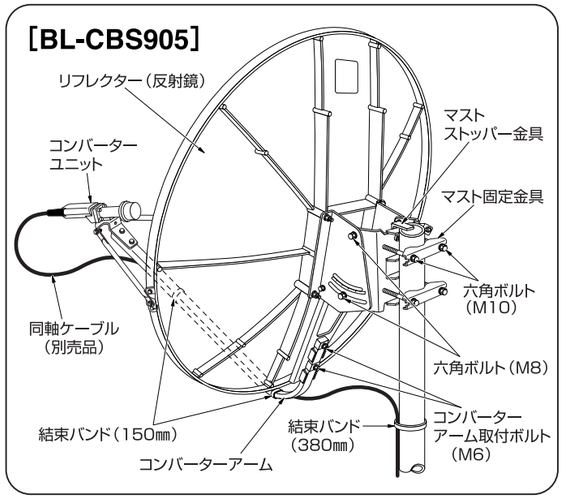
仕様		75cm型	90cm型
型名		BL-CBS753	BL-CBS905
周波数	（GHz）	11.7～12.75	
アンテナ利得	（dBi）	37.4以上	39.0以上
指向性（主偏波特性・交差偏波特性）		ITU-R勧告BO.1213に基づき個別受信アンテナの主偏波成分はAカーブに、交差偏波成分はBカーブに適合すること。個別受信アンテナの基本パターン（電力半値幅:CSBSA-75は2.4°、CSBSA-90は2°）	
電圧定在波比		1.3以下	
受信偏波		右旋円偏波	
G／T	（dB／K）	14.1以上	15.7以上
雑音指数	（dB）	受信帯域内（11.7～12.75）で1.2以下	
総合利得	（dB）	52±4	
利得偏差	（dBp-p）	受信帯域内で6以下、任意の受信チャンネル帯域内で1.3以下	
出力電圧定在波比		2.5以下	
相互変調妨害比	（dB）	−70（mW）入力の2信号において55以上	
イメージ妨害抑圧比	（dB）	31以上	
局部発振周波数の漂動		10.678GHz±1.5MHz以内（−30～+50℃）	
入力端子における局部発振信号漏洩	（dBmW）	−55以下	
局部発振周波数	（GHz）	右旋円偏波:10.678	
中間周波数	（MHz）	右旋円偏波:1032～2072	
局発位相雑音	（dBc／Hz）	−55（1kHz）以下、−73（5kHz）以下、−83（10kHz）以下	
電源		DC15V（ケーブル重畳）6W以下	
受風面積	（㎡）	0.57	0.72
耐風速	（m／s）	60	
適合マスト径	（φmm）	60.5～89.1	76.3～89.1
使用温度範囲	（℃）	−30～+50	
使用湿度範囲	（%）	20～90	
質量	（kg）	7.6	13.9
外観寸法	（mm）	高さ938×幅804×奥行1006（マスト径φ89.1mm、仰角40°時）	高さ1007×幅920×奥行1212（マスト径φ89.1mm、仰角40°時）

各部の名称

［BL-CBS753］



［BL-CBS905］



メンテナンス

いつまでも美しい映像をお楽しみいただくために、1年に1回は専門業者に保守点検をご依頼ください。

施工説明書

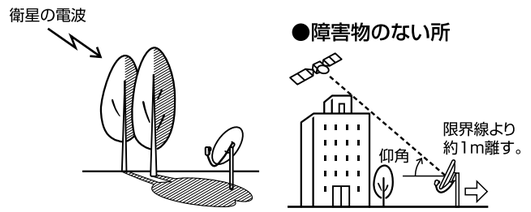
関連法規　この製品は有線テレビジョン放送法などが適用されます。

設置上のご注意

下記の注意事項をお守りください。

①アンテナの設置場所をよく選ぶ

電波の到来方向が見渡せる場所に設置してください。
受信方向（仰角・方位角）に山、ビル、金網、送電線、鉄塔、樹木など、障害物がありますと受信レベルに影響することがあります。陰にならない場所を選んで設置してください。

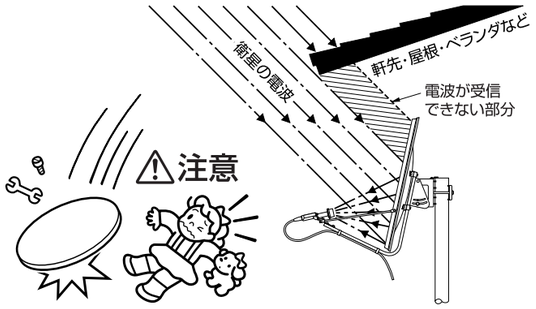


②気象条件による受信の劣化

衛星の電波は、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり雪がアンテナに付着すると、電波が弱くなり一時的に画面や音声に雑音が出たりひどい場合には、全く受信できなくなることがあります。これは気象条件によるものでアンテナやチューナーの故障ではありません。

③アンテナの設置

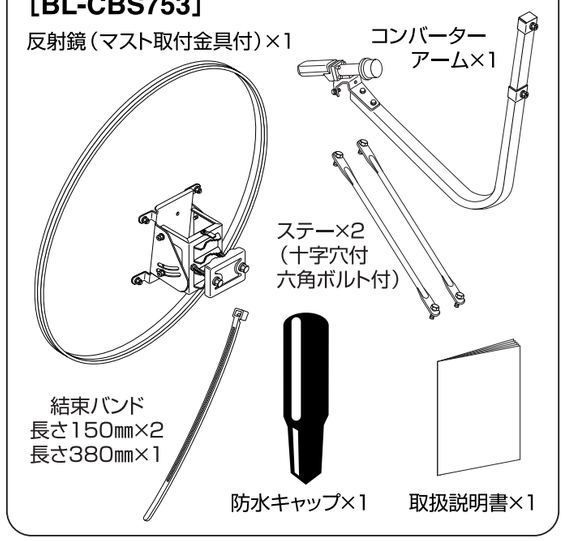
このアンテナはUHFアンテナなどと比べて風の影響を受けやすい形状になっていますので、アンテナの取付けるマストおよび取付金具は、しっかり固定してください。
屋上もしくは屋根の上の設置では、地上より風の影響がさらに増大しますので、設置するときには、しっかりした足場で安全を確保したうえで施工してください。落下防止のため、丈夫なヒモでアンテナ、取付金具、工具類を結んで作業すると安心です。
また、軒下などにアンテナを設置する際、軒先、屋根、ベランダなどによって電波の一部が受信障害を受け、受信に悪影響をおよぼします。
このような場合には、軒先などが受信の障害とならない位置（たとえば前方または下方）にアンテナの移設が必要です。
アンテナは重いので、開梱、持ち運びは必ず2人以上でおこなってください。



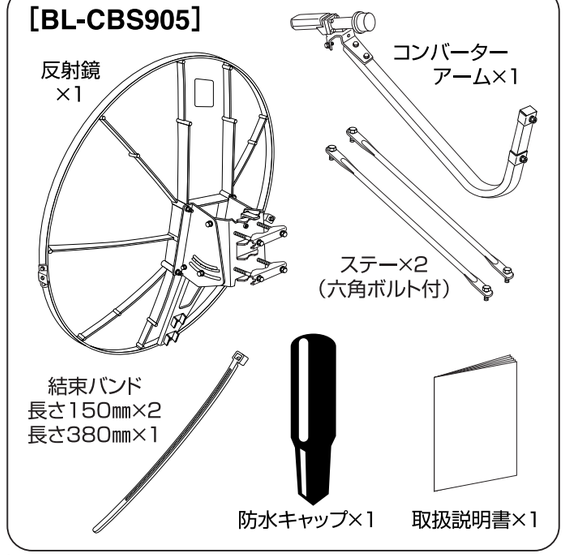
構成部品

下記の部品で構成されています。開封時に欠落部品がないかをご確認ください。

［BL-CBS753］



［BL-CBS905］



同軸ケーブルのつなぎかた

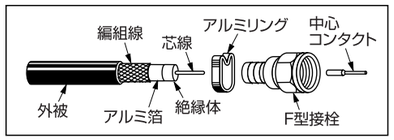
❶同軸ケーブルの加工方法と接栓の取付方法

⚠注意
- ●芯線と編組線とをショートさせないように注意しましょう。
- ●同軸ケーブルの加工は芯線や編組線をキズつけないように注意してください。また、このとき芯線が指に突き刺さらないように注意してください。
- ●同軸ケーブルは、S-5C-FB、S-7C-FB相当以上のJIS規格品をお奨めします。
- ●接栓は使用する同軸ケーブルに適したC15形相当品の防水接栓やS-7C-FB以上の同軸ケーブルはピン付き接栓をご使用ください。

F型接栓の場合

◆用意するもの
カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

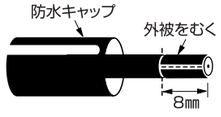
■各部の名称　（別売品）



●アルミ箔処理は絶縁体と同様に加工してください。

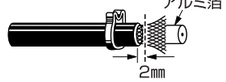
①必ず同軸ケーブルに防水キャップを通してから、同軸ケーブルの加工を始めてください。

②カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。（深さ1㎜程度）



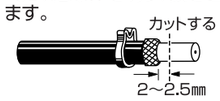
③外被の皮をむき、アルミリングを通しておきます。

④編組線をめくりあげて2㎜残しカットします。

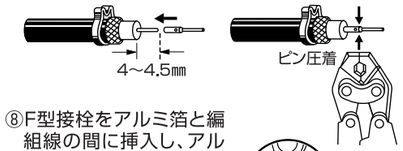


⑤編組線をめくり返します。

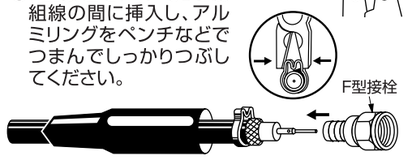
⑥編組線から2㎜はなしてアルミ箔、絶縁体を切り、抜きとります。



⑦芯線を4～4.5㎜にカットし、中心コンタクトを芯線に根元まで挿入してペンチ、圧着工具などで中心コンタクトが抜けないようカシメます。



⑧F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。

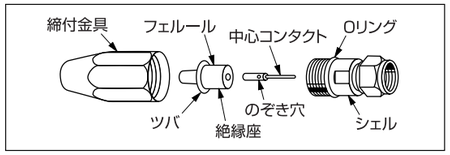


ポイント
- ●絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線と編組線が接触していないかを確認してください。
- ●芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにとってください。

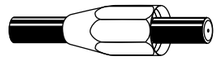
⚠注意　加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬケガの原因となります。

防水接栓の場合

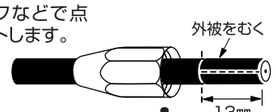
■防水接栓の構造（別売品）



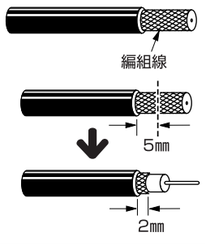
❶同軸ケーブルを加工する前に締付金具を通しておきます。



❷カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。（深さ1㎜程度）



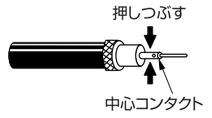
❸外被から5㎜はなしたところで編組線と絶縁体を切り、抜きとり、さらに編組線は外被から2㎜のところで切り取ってください。



❹編組線を外被側に折り返すとフェルールが差し込みやすくなります。

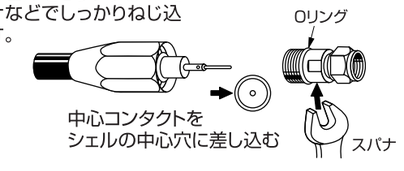
❺外被と絶縁体の間にフェルールをツバまでしっかり差し込みます。（上下にたおすようにすると入りやすい。）

❻次にフェルールの中央穴に中心コンタクトを差し込み、のぞき穴から芯線が差し込まれているのを確認し、見えていればペンチなどで押しつぶします。最後に中心コンタクトが抜けないか確認してください。



ポイント　押しつぶしすぎて切れないように慎重におこなってください。

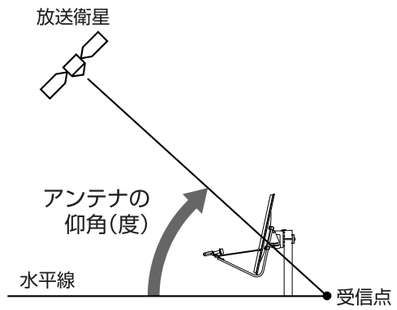
❼最後に締付金具とシェルをOリングが見えなくなるまでスパナなどでしっかりねじ込んで組立て完了です。



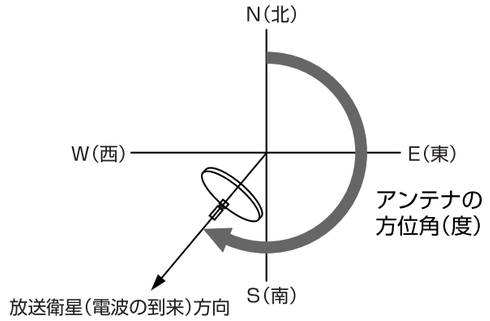
⚠注意　屋外に設置する場合は、屋外用の防水接栓を使用してください。また同軸ケーブルは、衛星対応ケーブルをご使用ください。

仰角と方位角

●仰角
（受信点から衛星を見上げた角度）



●方位角
（真北から東まわりに測った衛星の角度）



●主な都市の仰角と方位角(度)

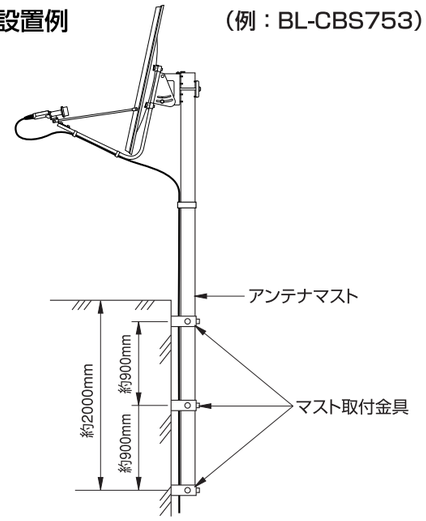
都市名	仰角	方位角	都市名	仰角	方位角	都市名	仰角	方位角	都市名	仰角	方位角
北海道地方			福　島	35.9	223.9	浜　松	40.1	222.7	山　口	44.1	215.0
稚　内	29.1	220.9	郡　山	36.3	224.0	豊　橋	40.2	222.3	下　関	44.6	214.4
北　見	29.2	224.1	いわき	36.3	224.9	名古屋	40.1	221.5	四国地方		
釧　路	29.6	225.1	関東地方			岐　阜	40.1	221.0	高　松	42.6	218.4
旭　川	30.1	222.5	水　戸	37.0	224.8	津	40.8	221.2	徳　島	42.5	219.2
帯　広	30.3	223.9	宇都宮	37.2	224.0	近畿地方			松　山	43.7	217.0
岩見沢	30.9	222.2	前　橋	37.9	223.1	大　津	40.9	220.2	高　知	43.5	218.2
札　幌	31.2	221.7	千　葉	37.8	224.9	奈　良	41.2	220.4	九州地方		
小　樽	31.3	221.3	さいたま	37.9	224.2	京　都	40.9	220.1	北九州	44.7	214.3
室　蘭	32.0	221.8	東　京	38.1	224.4	大　阪	41.4	220.2	福　岡	45.2	213.9
函　館	32.5	221.7	横　浜	38.3	224.5	和歌山	42.0	219.9	佐　賀	45.6	214.0
東北地方			中部地方			神　戸	41.6	219.6	佐世保	46.0	213.2
青　森	33.3	222.3	新　潟	36.6	222.1	姫　路	41.8	218.8	長　崎	46.3	213.8
八　戸	33.1	223.4	長　野	38.2	221.9	中国地方			大　分	44.9	215.9
弘　前	33.6	222.1	松　本	38.6	221.9	鳥　取	41.4	217.8	熊　本	45.8	214.9
盛　岡	34.0	223.4	富　山	38.7	220.7	米　子	42.0	216.7	宮　崎	46.2	216.6
秋　田	34.5	222.2	金　沢	39.1	220.1	松　江	42.1	216.3	鹿児島	47.0	215.6
仙　台	35.3	224.0	福　井	39.8	219.9	岡　山	42.3	217.9	沖縄地方		
鶴　岡	35.5	222.5	甲　府	38.7	223.0	福　山	42.9	217.2	那　覇	53.6	215.8
山　形	35.6	223.4	静　岡	39.4	223.3	広　島	43.4	216.2	石垣島	57.4	212.0

用意する工具およびテープ類

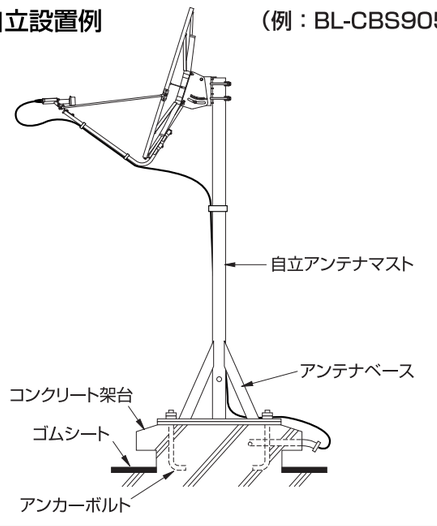
●安全ひも（約1m）　●プラスドライバー（大）　●モンキーレンチ（小）　●はさみまたはナイフ、カッター
●ペンチ　●ニッパー　●自己融着テープ（付属品）　●ビニールテープなど

設置完成例

●屋上設置例　（例：BL-CBS753）



●自立設置例　（例：BL-CBS905）

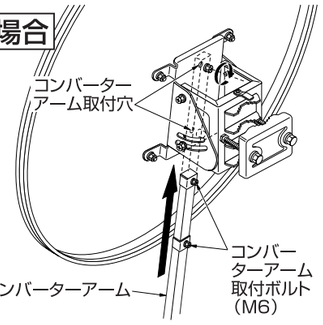


組立と取付方法

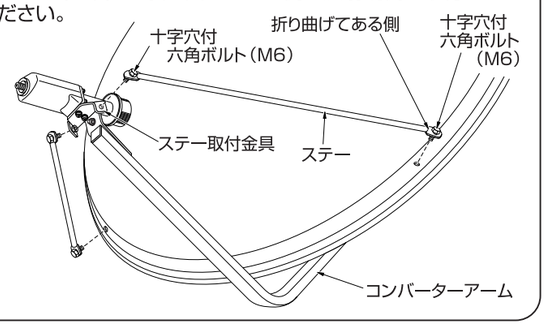
1 ステーおよびコンバーターアームの組立

BL-CBS753の場合

コンバーターアームをコンバーターアーム取付ボルト（2本）でコンバーターアーム取付穴にプラスドライバーで締めた後、六角レンチなどで基準のトルクでしっかり締付けてください。



アーム取付後、付属のステー（2本）をステー取付金具に十字穴付六角ボルトで、確実に基準のトルクで取付けてください。
ステー（2本）は、折り曲げてある側を反射鏡側に取付けてください。

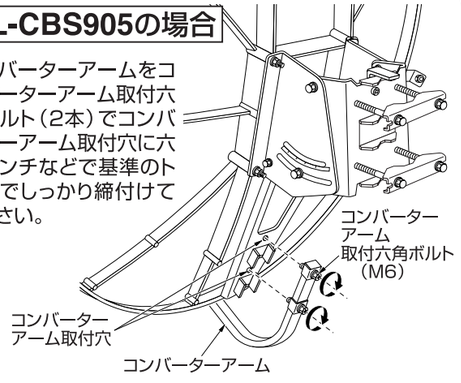


●六角ボルトの締付トルク

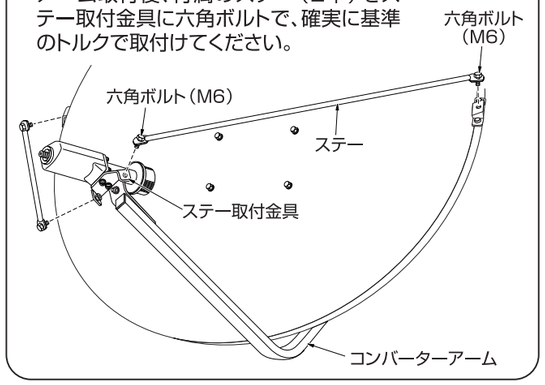
M6	4.7～5.1N･m（48～52kgf･cm）

BL-CBS905の場合

コンバーターアームをコンバーターアーム取付六角ボルト（2本）でコンバーターアーム取付穴に六角レンチなどで基準のトルクでしっかり締付けてください。



アーム取付後、付属のステー（2本）をステー取付金具に六角ボルトで、確実に基準のトルクで取付けてください。

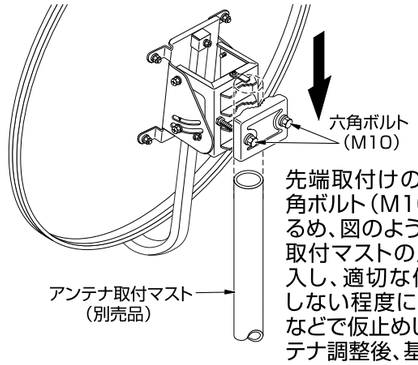


❷マストへの取付

BL-CBS753の場合

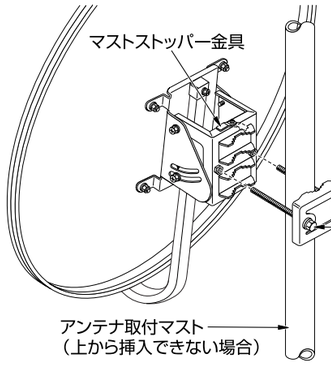
⚠注意 φ76.3mm未満のマストをご使用になる場合は、強度および安全を十分ご確認ください。

●先端取付の場合



先端取付けの場合は、六角ボルト(M10)2本をゆるめ、図のようにアンテナ取付マストの上部から挿入し、適切な位置で落下しない程度に六角レンチなどで仮止めします。アンテナ調整後、基準のトルクで締付けてください。

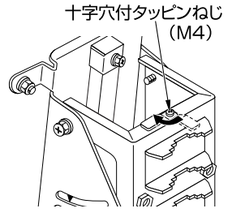
●中間取付の場合



取付マストの中間に取付ける場合(上から挿入できない状態)は、マストストッパー金具の向きを変え、固定金具をいったん取りはずし、任意の位置で再度固定金具を当てて六角ボルト(M10)で固定してください。

ポイント
仰角が55°以上の地域では、中間取付けはできません。

十字穴付タッピンねじをゆるめ、90°程度向きをかえ、ねじを締付けてください。

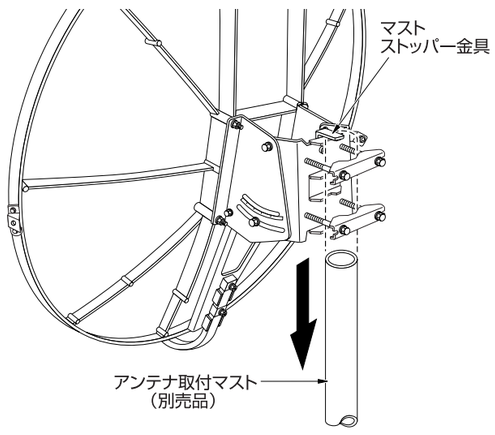


●ねじ、六角ボルトの締付トルク

M4	1.9~2.1N・m(19~21kgf・cm)
M10	25.5~26.5N・m(260~270kgf・cm)

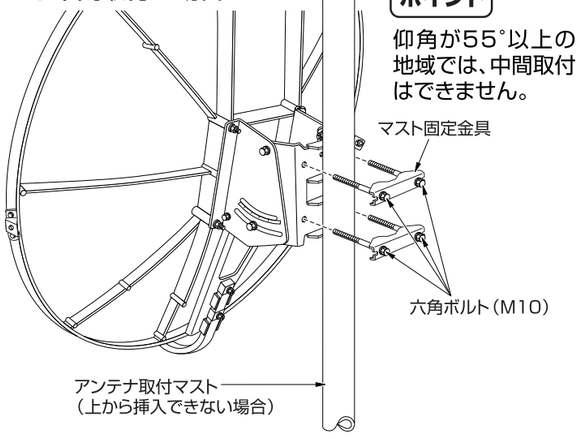
BL-CBS905の場合

●先端取付の場合



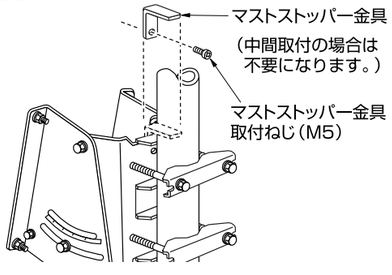
①先端取付の場合は、六角ボルト(M10)4本をゆるめ、図のようにアンテナ取付マストの上部から挿入し、適切な位置で落下しない程度に六角レンチなどで仮止めします。アンテナ調整後、基準のトルクで締付けてください。

●中間取付の場合



②取付マストの中間に取付ける場合(上から挿入できない状態)は、マストストッパー金具を取りはずし、固定金具をいったん取りはずし、任意の位置で再度固定金具を当てて六角ボルト(M10)で仮固定してください。アンテナ調整後、基準のトルクで締付けてください。

ポイント
仰角が55°以上の地域では、中間取付はできません。



●ねじ、六角ボルトの締付トルク

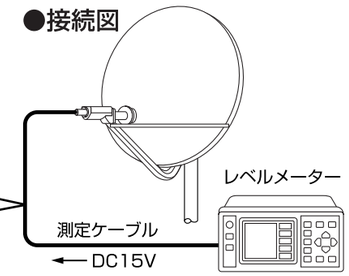
M5	2.2~2.6N・m(23~27kgf・cm)
M10	25.5~26.5N・m(260~270kgf・cm)

アンテナの調整方法

❶電界強度測定器(レベルメーター)の接続

コンバーターとレベルメーターを右図のように接続してください。
コンバーターの出力端子とレベルメーターを同軸ケーブルで接続し、レベルメーターのチャンネルを衛星受信チャンネルに合わせてください。
操作方法は、お手持ちの電界強度測定器(レベルメーター)の説明書をご参照ください。

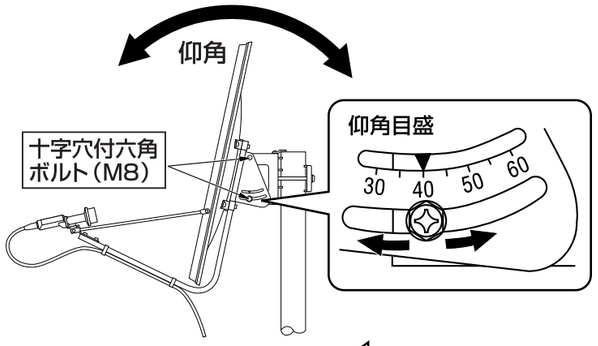
●接続図



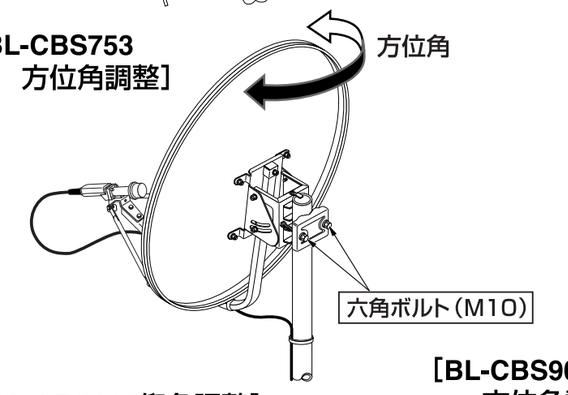
ポイント デジタル衛星放送を受信する場合は、デジタル対応レベルメーターをご使用ください。

❷仰角、方位角の調整 仰角、方位角の調整は、衛星からの電波を受信しておこないます。

[BL-CBS753仰角調整]



[BL-CBS753
方位角調整]



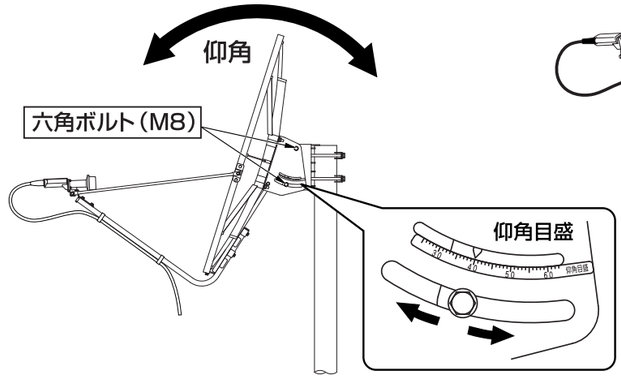
①仰角を合わせます。
別表(P.8)の仰角表から受信する衛星の設置場所に近い都市の仰角値を求めます。
BL-CBS753は十字穴付六角ボルトをゆるめ、取付金具の側面に示してあります仰角目盛に三角穴の先端を合わせて仮止めしてください。
BL-CBS905は六角ボルトをゆるめ、取付金具の側面に示してあります仰角目盛に三角穴の先端を合わせて仮止めしてください。

②方位角の設定をします。
別表(P.8)の方位角表から受信する衛星の設置場所に近い都市の方位角値を求め、その付近に合わせます。その後、レベルメーターの表示を見ながらゆっくりとアンテナを左右に回転させ、メーターの表示が最大になる位置で六角ボルトを基準のトルクで締付けてください。

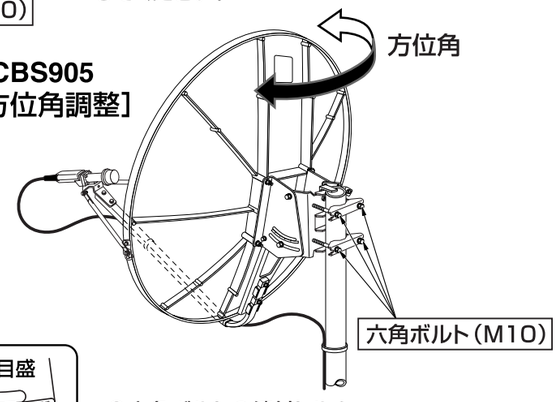
③①の状態で先程仮止めしておいた十字穴付六角ボルト(BL-CBS905は六角ボルト)をゆるめ、メーターの表示が最大になる位置で十字穴付六角ボルト(BL-CBS905は六角ボルト)を基準のトルクで締付けてください。

④最後にテレビ画像を確認し、良好であれば調整完了です。
もし、画像不良の場合は、①から③を再度、繰り返してください。

[BL-CBS905仰角調整]



[BL-CBS905
方位角調整]



●六角ボルトの締付トルク

M8	12.7~13.1N・m(130~134kgf・cm)
M10	25.5~26.5N・m(260~270kgf・cm)